

2018年4月3日発行

## 「2018年3月期(第4回) 旅行市場動向調査」

一般社団法人 日本旅行業協会 (JATA) では、JATA会員各社および中連協会員各社へ調査モニターへの登録を依頼し、登録のあった588社を対象として、四半期ごとに「旅行市場動向調査」を実施しております。今回、3月期の調査がまとまりましたのでお知らせします。

### ●海外旅行DIは、12月期から変動なくマイナス16ポイント

- ※業態別は海外ホールセラーが19ポイント上昇し回復傾向
- ※方面別は韓国は21ポイント上昇、ミクロネシアは13ポイント上昇、ヨーロッパは12ポイント上昇で順調に回復傾向
- ※顧客層別は学生は24ポイント上昇、シニアは11ポイント上昇し大幅に回復傾向。

### ○3ヵ月後DIは6ポイントで上昇しマイナス10ポイントへ。6月後は更に4ポイント上昇しマイナス12

### ●国内旅行DIは、12月期より11ポイント減少しマイナス15で下降傾向

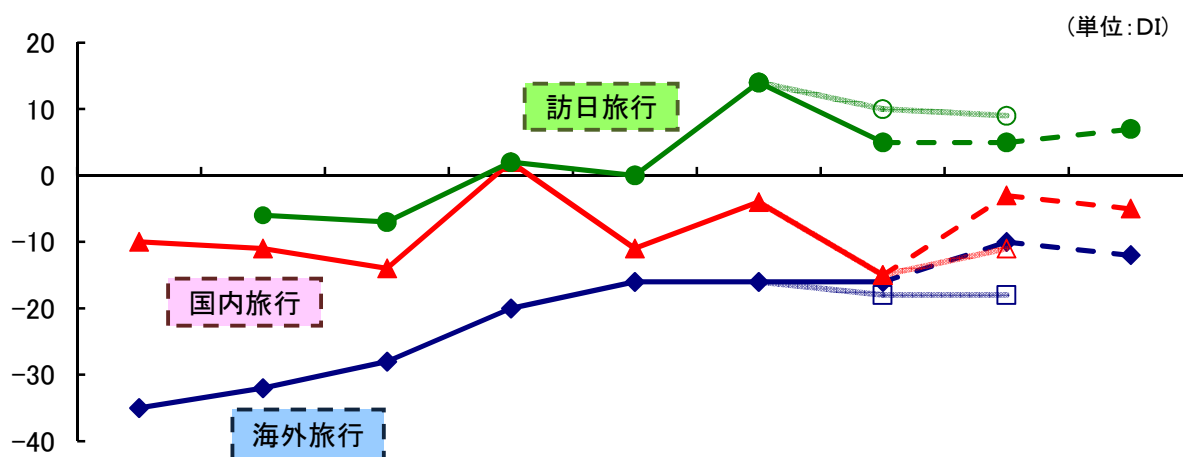
- ※業態別は国内旅行ホールセラーが16ポイント上昇し大幅に回復。リテラー-1は40ポイント減少し大幅に下落
- ※方面別は愛知・岐阜・三重は5ポイント上昇、九州及び沖縄・奄美は4ポイント上昇し順調に回復
- ※団体旅行は招待・報奨が14ポイント減少し下降。個人旅行はシニアが6ポイント上昇し回復へ

### ○3ヵ月後DIは12ポイント上昇しマイナス3で回復に推移。6ヵ月後は10ポイント上昇しマイナス5

### ●訪日旅行DIは、12月期より9ポイント減少するがプラス5で維持

- ※業態別はネット系旅行会社は67ポイント上昇し大幅に回復
- ※方面別は東北、甲信越・北陸、ゴールデンルートは増加し回復傾向へ
- ※顧客層別はMICEが25ポイント減少し大幅下落。全体的に下降傾向
- 出身国別は香港は5ポイント上昇し回復傾向。豪州は11ポイント減少し下落傾向

### ○3ヵ月後DIは変動なくプラス5で維持。6月後は更に2ポイント上昇しプラス7



	1年半前 (7~9月)	1年 3ヵ月前 (10~12月)	1年前 (1~3月)	9ヵ月前 (4~6月)	6ヵ月前 (7~9月)	3ヵ月前 (10~12月)	現況 (1~3月)	3ヵ月後 (4~6月)	6ヵ月後 (7~9月)
海外旅行全般	-35	-32	-28	-20	-16	-16	-16 ※-18	-10 ※-18	-12
国内旅行全般	-10	-11	-14	2	-11	-4	-15 ※-15	-3 ※-11	-5
訪日旅行全般	-	-6	-7	2	0	14	5 ※10	5 ※9	7

※2017年12月期調査見通し数値

## ■旅行市場動向調査について

一般社団法人 日本旅行業協会（JATA）では、JATA会員および中連協会員各社へ調査モニターへの登録を依頼し、会員1,198社中、登録のあった588社を対象として、四半期ごとに「旅行市場動向調査」を実施し、その結果を発表しております。

「旅行市場動向調査」は、現況・先行き（3ヵ月後）についてのアンケートを実施し、旅行市場の動向を把握することを目的としております。

調査では各質問事項に対し「良い」「普通」「悪い」「取り扱っていない」で評価を求め、回答数から「取り扱っていない」（無回答を含む）の回答を除いたものを母数として各回答のシェアを算出し、「良い」を選んだ割合（%）から「悪い」を選んだ割合（%）を引いて、「D I」（=Diffusion Index ディフュージョン・インデックス）という景気動向指数に加工して発表しています。D I 値の範囲は、全て良い（100）から、全て悪い（-100）の間の評価となります。

## ◆調査概要

調査地域	： 全国
調査対象	： JATA会員各社、中連協会員各社の経営者など
調査方法	： インターネット調査
調査期間	： 2018年2月5日（月）～2月25日（日）
設定数	： 588社
回収数	： 297社
回収率	： 50.5%

## ◆業態別区分について

「旅行市場動向調査」では、各業況を業態別に分析しています。  
各業態の定義と今回調査での回答件数は下記の表の通りとなっています。

業態名	定義	社数	比率
総合旅行会社	全国にネットワークを持ち、全分野に商品を持つ大規模な旅行会社	34	11.4%
海外旅行 ホールセラー	海外旅行を専業とするホールセラー会社	16	5.4%
海外旅行系 旅行会社	旅行業の取扱額が50億円以上で、うち海外旅行の取扱額が80%以上の旅行会社	17	5.7%
国内旅行 ホールセラー	国内旅行を専業とするホールセラー会社	6	2.0%
リテラー1	上記以外で 旅行業の取扱額が30億円以上の旅行会社	28	9.4%
リテラー2	上記以外で 旅行業の取扱額が30億円未満の旅行会社	117	39.4%
インハウス	親会社の業務渡航などを中心に行っている旅行会社	41	13.8%
ネット系 旅行会社	上記以外でインターネット販売が 中心である会社	9	3.0%
訪日旅行系 旅行会社	上記以外で訪日旅行販売が中心である会社	29	9.8%

\*ホールセラー … パッケージツアーの企画・販売を専門に行う旅行会社

この資料についてのお問い合わせは、JATA広報室までお願いします。  
なお、本データはJATAホームページ <http://www.jata-net.or.jp> でご覧になれます。  
TEL : (03)3592-1244

## ■海外旅行全般の業況について

現況は3カ月前(10~12月)から変動なくマイナス16で横ばいに推移  
 海外旅行ホールセラーは19ポイント上昇し大幅に回復。韓国は21ポイント上昇、ミクロネシアは13ポイント上昇、  
 ヨーロッパは12ポイント上昇で順調に回復傾向  
 3カ月後(4~6月)の見通しは6ポイント上昇しマイナス10へ。

### 総合

方面別では、韓国は低位だが大きく上昇し需要回復。ミクロネシア、ヨーロッパも順調に回復。ハワイ、アジアは上位で上昇傾向。業態別では、海外ホールセラーは19ポイント増で(-25)、リテラー2は15ポイント増で(-24)と大幅に回復傾向。順調であったリテラー1は17ポイント減で(+4)に下降傾向。ネット系旅行会社は65ポイントも減少し(-40)で大幅に下落。顧客層別では、学生は24ポイント増で(-21)と大幅に回復。シニアは11ポイント増で(-1)で好調に回復。全体的に回復傾向の中、ハネムーンだけ3ポイント減で(-36)と緩やかに下降。

### 現況(1~3月) 韓国は大きく上昇し需要回復。ミクロネシア、ヨーロッパも順調に回復。

- ・ヨーロッパは復調、東南アジアは好調、ハワイは継続して低調、社会情勢で韓国及びミクロネシアも低調。(第1種/総合旅行会社)
- ・韓国はもどりつつあるがまだ不安定。ヨーロッパは比較的好調。年齢層ではシニアが好調。(第1種/海外旅行系旅行会社)
- ・1~3月出発は学生旅行が非常に好調なのが特徴。特にヨーロッパやアメリカ方面等のロングが伸びている。(第1種/リテラー1)
- ・海外旅行全般は3カ月前(10~12月)より0ポイントの横ばいで-16

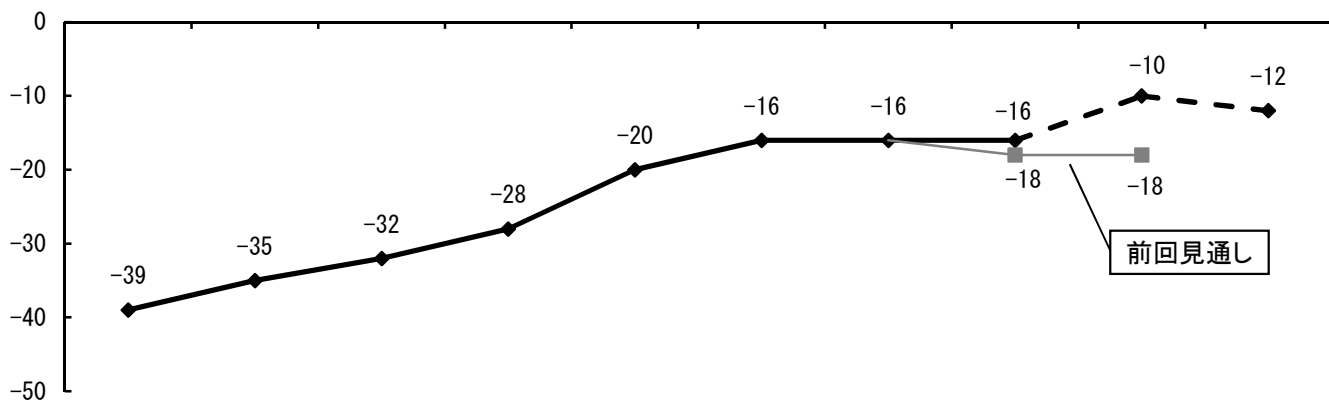
### 3カ月後、6カ月後の見通し

ヨーロッパ、中国は順調に回復し上昇で推移。

- ・台湾は家族、女性のグループからの問い合わせが多くなっている(第1種/総合旅行会社)
- ・近隣のアジアディステーション、特に台湾、ベトナムが良い。(第1種/海外旅行ホールセラー)
- ・ヨーロッパや4日間で行ける台湾・香港が比較的動きがある(第1種/リテラー1)
- ・近くて安いディステーションが好調(第1種/ネット系旅行会社)
- ・3カ月後(4~6月)は6ポイント上昇し-10。6カ月後(7~9月)は4ポイント上昇し-12。

N:有効回答数  
(N=235)

(単位: D I)



2年前 (1~3月)	1年半前 (7~9月)	1年 3カ月前 (10~12月)	1年前 (1~3月)	9カ月前 (4~6月)	6カ月前 (7~9月)	3カ月前 (10~12月)	現況 (1~3月)	3カ月後 (4~6月)	6カ月後 (7~9月)
-39	-35	-32	-28	-20	-16	-16	-16	-10	-12
							※-18	※-18	

※2017年12月期調査見通し数値

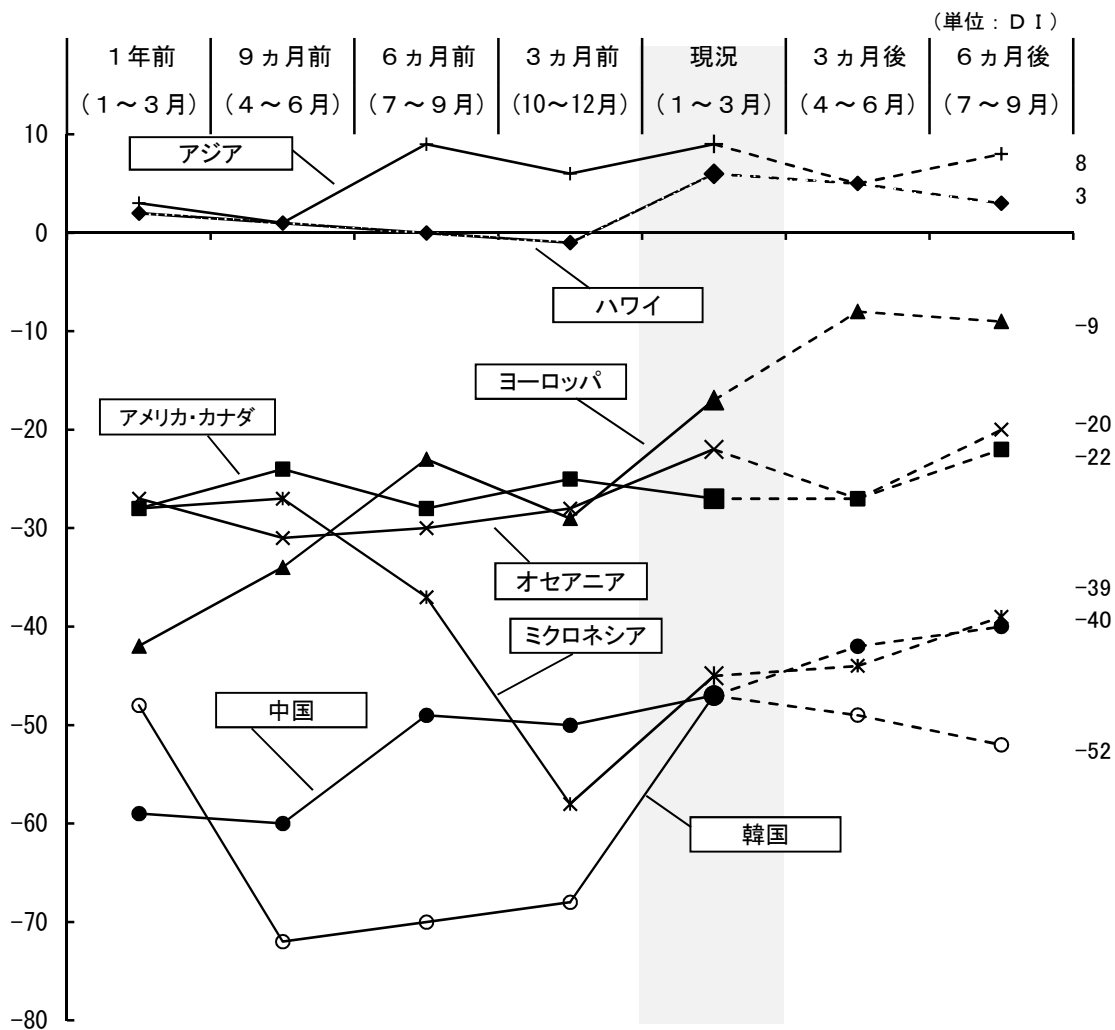
	1年半前 (7~9月)	1年 3カ月前 (10~12月)	1年前 (1~3月)	9カ月前 (4~6月)	6カ月前 (7~9月)	3カ月前 (10~12月)	現況 (1~3月)	3カ月後 (4~6月)	6カ月後 (7~9月)
総合旅行会社	-49	-42	-14	11	10	15	9	-6	-9
海外旅行ホールセラー	-44	-41	-40	-35	-21	-44	-25	0	-31
海外旅行系旅行会社	-27	8	-16	-9	-14	-17	-35	6	0
リテラー1	-40	-23	-19	9	3	21	4	24	12
リテラー2	-33	-35	-37	-34	-26	-39	-24	-23	-17
インハウス	-25	-20	-17	-15	-12	2	-8	-8	-14
ネット系旅行会社	-33	-50	-50	-16	-100	25	-40	-20	0

## ◆海外旅行の需要動向（方面別）

現況は全体的に回復傾向で推移。特に韓国、ミクロネシア、ヨーロッパが顕著に回復  
 アジア、ハワイも好調に推移し上位で継続  
 3か月後はヨーロッパ、中国が更に上昇し回復推移

- ・ 現況は3か月前(10～12月)に比べ、韓国は21ポイント増(-47)で低位であるが大きく回復。ミクロネシアは13ポイント増(-45)、ヨーロッパは12ポイント増(-17)で顕著に回復。ハワイは7ポイント増(+6)に上位で更に上昇。オセアニアは6ポイント増(-22)、アジアは3ポイント増(+9)最上位で回復。中国もプラス3ポイント増(-47)で回復傾向。アメリカ・カナダは2ポイント減(-27)で緩やかに下降傾向。
- ・ 3か月後(4～6月)は、ヨーロッパは9ポイント増、中国は5ポイント増で上昇し回復傾向。ミクロネシアは1ポイント増、アメリカ・カナダは横ばいで推移。上位に位置するハワイは1ポイント減、韓国も2ポイント減で緩やかに下降。アジアは4ポイント減、オセアニアは5ポイント減少で下降傾向に推移。

N:有効回答数  
(N=235)



(単位：D I)

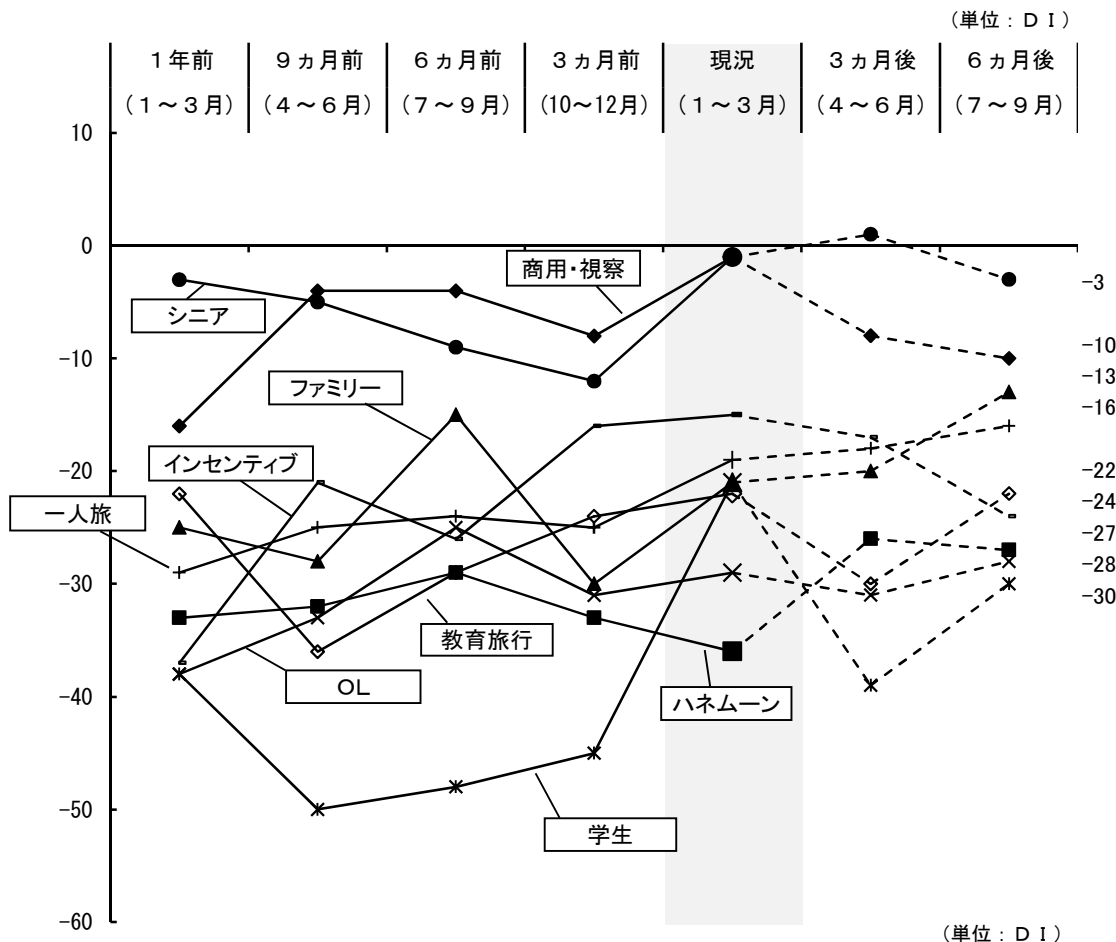
	1年前 (1～3月)	9カ月前 (4～6月)	6カ月前 (7～9月)	3カ月前 (10～12月)	現況 (1～3月)	3か月後 (4～6月)	6か月後 (7～9月)
ハワイ	2	1	0	-1	6	5	3
アメリカ・カナダ	-28	-24	-28	-25	-27	-27	-22
ヨーロッパ	-42	-34	-23	-29	-17	-8	-9
オセアニア	-27	-31	-30	-28	-22	-27	-20
ミクロネシア	-28	-27	-37	-58	-45	-44	-39
アジア	3	1	9	6	9	5	8
中国	-59	-60	-49	-50	-47	-42	-40
韓国	-48	-72	-70	-68	-47	-49	-52

◆海外旅行の需要動向（顧客層別）

**現況は学生、シニアは大幅上昇し回復傾向。  
ハネムーンは3ポイント減少し緩やかに下降。  
3ヵ月後はハネムーンが回復傾向で推移。学生（教育旅行を除く）は大幅に下落。**

- ・ 現況は3ヵ月前(10～12月)に比べ、学生は24ポイント増(-21)、シニアは11ポイント増(-1)で大幅上昇し回復傾向。ファミリーは9ポイント増(-21)、商用・視察は7ポイント増(-1)、一人旅は6ポイント増(-19)と回復傾向。教育旅行は2ポイント増(-22)、OLは2ポイント増(-29)、インセンティブは1ポイント増(-15)と緩やかに回復。ハネムーンは3ポイント減(-36)で緩やかに下降傾向。
- ・ 3ヵ月後(4～6月)は、ハネムーンは10ポイント増で大きく回復傾向。シニア(60歳以上)は2ポイント増、一人旅は1ポイント増、ファミリーは1ポイント増で緩やかに回復。インセンティブ(\*)、OLは2ポイント減で緩やか下降。商用・視察は7ポイント減、教育旅行は8ポイント減で下降。学生(教育旅行を除く)は18ポイント減で大幅に下落傾向。

N: 有効回答数  
(N=235)



	1年前 (1～3月)	9ヵ月前 (4～6月)	6ヵ月前 (7～9月)	3ヵ月前 (10～12月)	現況 (1～3月)	3ヵ月後 (4～6月)	6ヵ月後 (7～9月)
ハネムーン	-33	-32	-29	-33	<b>-36</b>	-26	-27
ファミリー	-25	-28	-15	-30	<b>-21</b>	-20	-13
OL	-38	-33	-25	-31	<b>-29</b>	-31	-28
学生(教育旅行を除く)	-38	-50	-48	-45	<b>-21</b>	-39	-30
シニア(60歳以上)	-3	-5	-9	-12	<b>-1</b>	1	-3
一人旅	-29	-25	-24	-25	<b>-19</b>	-18	-16
インセンティブ(*)	-37	-21	-26	-16	<b>-15</b>	-17	-24
商用・視察	-16	-4	-4	-8	<b>-1</b>	-8	-10
教育旅行	-22	-36	-29	-24	<b>-22</b>	-30	-22

\*「インセンティブ」: 企業・団体等が従業員への報奨として提供する旅行

## ■国内旅行全般の業況について

現況は、11ポイント減少しマイナスで下降傾向。  
国内旅行ホールセラーは大幅回復するが、リテラー1は大幅に下落で推移。  
愛知・岐阜・三重、沖縄・奄美、九州は好調に回復。  
団体旅行は全体的に下降傾向。個人旅行は、OL以外は回復傾向で推移。

### 総合

業態別では、国内旅行ホールセラーは16ポイント増(-17)で大幅回復。リテラー1は40ポイント減で(-19)と大幅に下落傾向。方面別では、愛知・岐阜・三重は5ポイント増で(-15)、九州は4ポイント増で(-6)、沖縄・奄美は4ポイント増(+3)で順調に回復。四国は7ポイント減で(-33)、山陽・山陰は8ポイント減で(-27)と下降傾向。団体別では、サークル・親睦は13ポイント減で(-25)、招待・報奨は14ポイント減で(-23)その他も下降傾向。個人別では、一人旅は8ポイント増で(-19)、シニアは6ポイント増で(+6)と上位で上昇し、その他もOL以外は回復傾向。

### 現況(1~3月)

愛知・岐阜・三重、沖縄・奄美、九州は好調に回復

- ・九州が前年に増して良い。北陸・関西苦戦(第1種/総合旅行会社)
- ・団体旅行は各方面ともに低調。九州内は鹿児島方面のみ好調に推移。関西方面はほぼ前年並みに推移。予約はネットへの移行が顕著。(第1種/総合旅行会社)
- ・USJの新パーク開業効果もあり関西方面が好調に推移。本州スキーは前半、鈍かったが後半戦で良くなってきた(第1種/リテラー1)
- ・国内旅行全般は3カ月前(10~12月)より11ポイント下落し、-15。

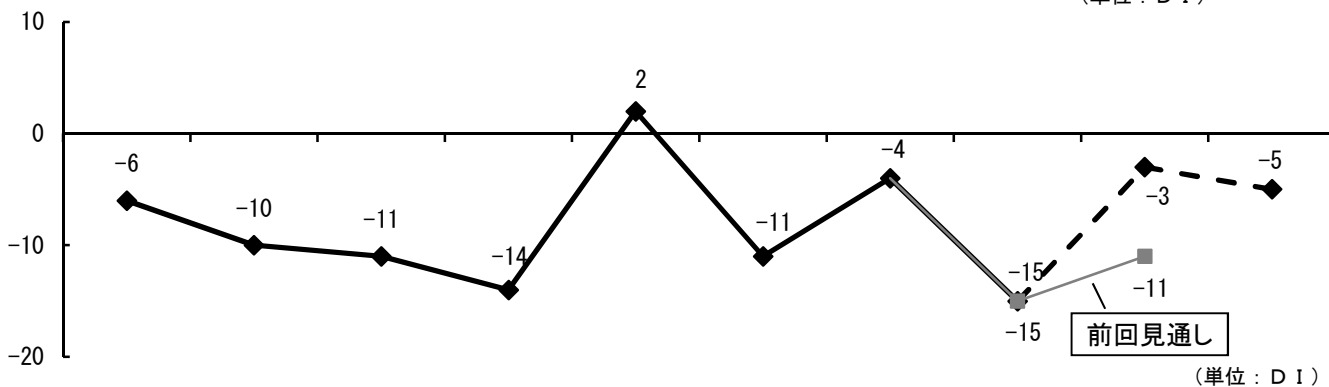
### 3カ月後、6カ月後の見通し

3カ月後は全体的に回復傾向であるが、京阪神は下降で推移。

- ・「西郷どん」効果で南九州が人気。TDR・USJ以外にも各テーマパークのリニューアルや新規開業などがあり全般的に人気。(第1種/総合旅行会社)
- ・大分は六郷満山開山1300年の年により好調(第1種/国内旅行ホールセラー)
- ・TDR・USJが家族・三世代に人気がある。(第1種/リテラー2)
- ・沖縄は離島を含めて好調。日帰り温泉も増えている。(第1種/インハウス)
- ・3カ月後(4~6月)は12ポイント上昇し-3。6カ月後(7~9月)は10ポイント上昇し-5。

N:有効回答数  
(N=186)

(単位: D I)



(単位: D I)

2年前 (1~3月)	1年半前 (7~9月)	1年 3カ月前 (10~12月)	1年前 (1~3月)	9カ月前 (4~6月)	6カ月前 (7~9月)	3カ月前 (10~12月)	現況 (1~3月)	3カ月後 (4~6月)	6カ月後 (7~9月)
-6	-10	-11	-14	2	-11	-4	-15	-3	-5
							※-15	※-11	

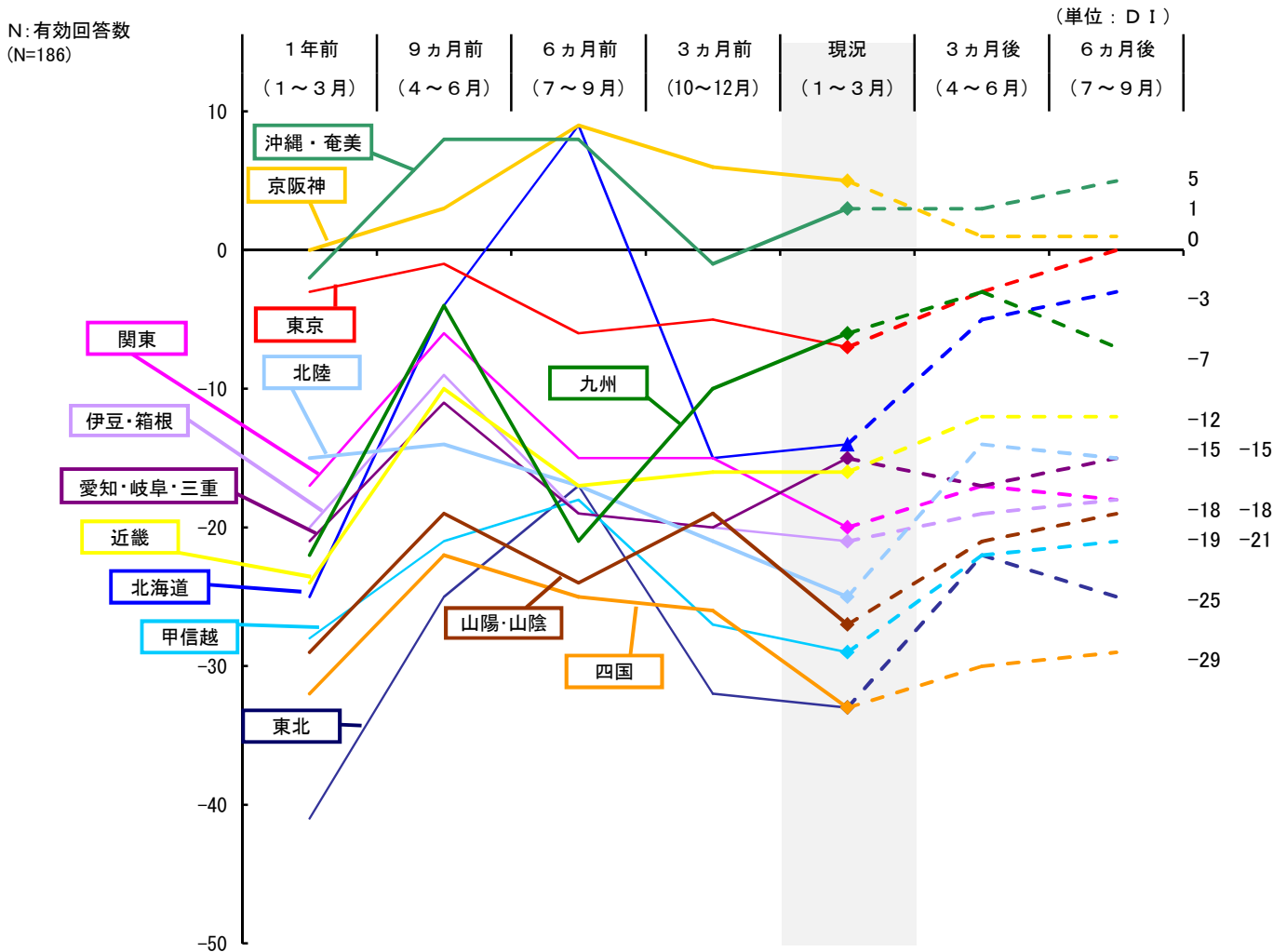
※2017年12月期調査見通し数値

	1年半前 (7~9月)	1年 3カ月前 (10~12月)	1年前 (1~3月)	9カ月前 (4~6月)	6カ月前 (7~9月)	3カ月前 (10~12月)	現況 (1~3月)	3カ月後 (4~6月)	6カ月後 (7~9月)
総合旅行会社	-13	-18	-19	18	-15	-7	-17	-4	0
国内旅行ホールセラー	-28	-43	0	-33	0	-33	-17	0	25
リテラー1	-21	-39	-19	20	0	21	-19	4	0
リテラー2	-9	-3	-16	5	-16	-5	-11	-5	-9
インハウス	8	-5	7	-7	-3	0	-11	0	-6
ネット系旅行会社	-44	-33	-67	-43	-27	-20	-33	-33	-16

◆国内旅行の需要動向（方面別）

**現況は愛知・岐阜・三重、沖縄・奄美、九州は好調に回復。**  
**3ヵ月後は全体的に回復傾向であるが、京阪神、愛知・岐阜・三重は緩やかに下降。**

- ・ 現況は3ヵ月前(10～12月)に比べ、愛知・岐阜・三重は5ポイント増で(-15)、沖縄・奄美は4ポイント増(+3)でプラスに位置し回復傾向。九州は4ポイント増(-6)、北海道は1ポイント増(-14)で緩やかに回復傾向。近畿は(-16)で増減なく横ばいで推移。京阪神(京都・大阪・USJ)は1ポイント減少するも(+5)で上位継続。伊豆・箱根(静岡を含む)、東北、東京(TDR・横浜を含む)、甲信越は緩やかに下降傾向。北陸は4ポイントで減で(-25)、関東は5ポイント減で(-20)で下降傾向。四国は7ポイント減で(-33)、山陽・山陰は8ポイント減で(-27)で大きく下降傾向。
- ・ 3ヵ月後(4～6月)は、北陸及び東北は11ポイント増、北海道は9ポイント増、甲信越は7ポイント増、山陽・山陰は6ポイント増で順調に回復。東京(TDR・横浜を含む)及び近畿は4ポイント増、九州、関東、四国は3ポイント増、伊豆・箱根(静岡を含む)は2ポイント増で緩やかに回復。沖縄・奄美は横ばいの上位で現状維持。愛知・岐阜・三重は2ポイント減、京阪神(京都・大阪・USJ)は4ポイント減少で下降傾向。



(単位: D I)

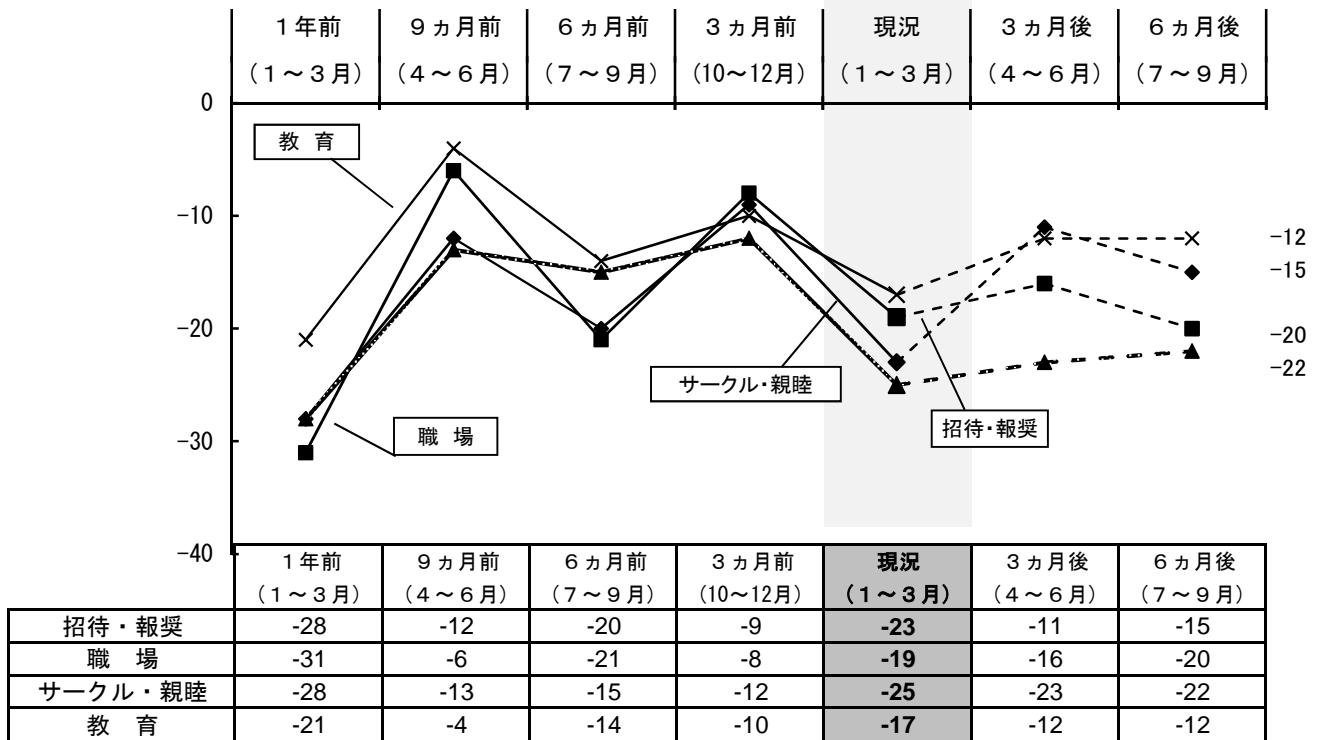
	1年前 (1～3月)	9ヵ月前 (4～6月)	6ヵ月前 (7～9月)	3ヵ月前 (10～12月)	現況 (1～3月)	3ヵ月後 (4～6月)	6ヵ月後 (7～9月)
北海道	-25	-4	9	-15	-14	-5	-3
東北	-41	-25	-17	-32	-33	-22	-25
東京(TDR・横浜を含む)	-3	-1	-6	-5	-7	-3	0
関東	-17	-6	-15	-15	-20	-17	-18
甲信越	-28	-21	-18	-27	-29	-22	-21
伊豆・箱根(静岡を含む)	-20	-9	-19	-20	-21	-19	-18
愛知・岐阜・三重	-21	-11	-19	-20	-15	-17	-15
北陸	-15	-14	-17	-21	-25	-14	-15
京阪神(京都・大阪・USJ)	0	3	9	6	5	1	1
近畿	-24	-10	-17	-16	-16	-12	-12
山陽・山陰	-29	-19	-24	-19	-27	-21	-19
四国	-32	-22	-25	-26	-33	-30	-29
九州	-22	-4	-21	-10	-6	-3	-7
沖縄・奄美	-2	8	8	-1	3	3	5

### ◆国内旅行の需要動向（団体旅行）

- ・ 現況は3カ月前(10～12月)に比べ、教育は7ポイント減で(-17)、職場は11ポイント減で(-19)、サークル・親睦は13ポイント減で(-25)、招待・報奨は14ポイント減で(-23)と全体的に下降で推移。
- ・ 3カ月後(4～6月)は、招待・報奨は12ポイント増で大きく上昇し回復傾向。教育は5ポイント増、職場は3ポイント増、サークル・親睦は2ポイント増で回復に推移。

N:有効回答数  
(N=186)

(単位: D I)

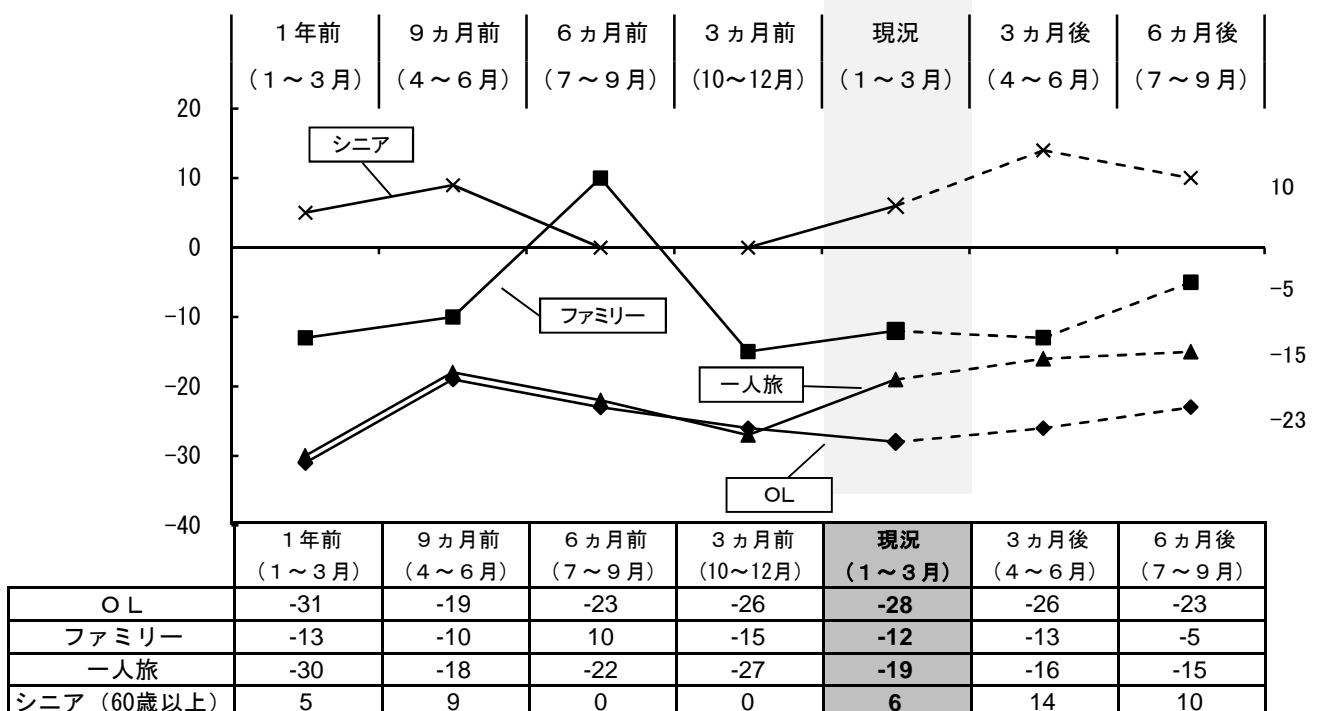


### ◆国内旅行の需要動向（個人観光旅行）

- ・ 現況は3カ月前(10～12月)に比べ、一人旅は8ポイント増で(-19)、シニアは6ポイント増(+6)で順調に回復傾向。ファミリーは3ポイント増で(-12)、OLは2ポイント減少(-28)で下降傾向。
- ・ 3カ月後(4～6月)は、シニア(60歳以上)は8ポイント増で上位で好調に回復。一人旅は3ポイント増、OLは2ポイント増で緩やかに回復、ファミリーは1ポイント減少し緩やかに推移。

N:有効回答数  
(N=186)

(単位: D I)





## ■訪日旅行全般の業況について

現況は3カ月前より9ポイントポイントも減少で下降で推移。  
 ネット系旅行会社は67ポイント上昇し、マイナスから大幅に回復。  
 東北、甲信越・北陸、ゴールデンルートは順調に上昇し回復傾向へ  
 3カ月後は横ばいで現状維持のプラスで推移

### 総合

業態別では、ネット系旅行会社は67ポイント増で(+67)と0からプラスで大幅に回復。リテラー2も15ポイント増で(+15)と上昇傾向。訪日旅行系旅行会社は17ポイント減で下降傾向。インハウスは39ポイントも減少し(-27)で大幅下落。方面別では、全体的に上昇で推移し回復傾向。東北は14ポイント増で(+22)、甲信越・北陸は12ポイント増で(+7)、ゴールデンルート(関東⇄関西)は7ポイント増で(+11)と回復傾向。上位で首都圏(TDR含む)は2ポイント増で(+14)、北海道は2ポイント増で(+7)と緩やかに回復。大阪・京都は(USJ含む)(+21)で横ばいに推移。

### 現況(1~3月) 東北、甲信越・北陸、ゴールデンルートは順調に上昇し回復傾向

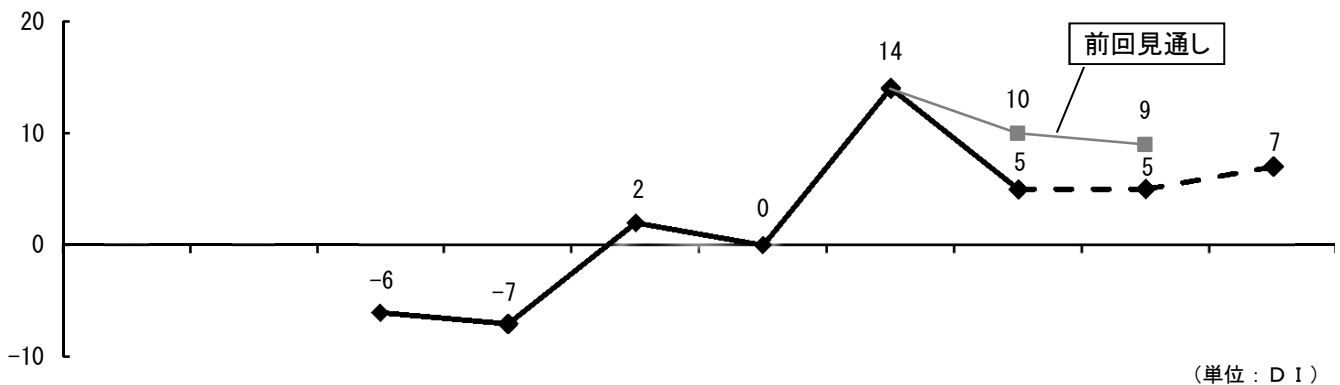
- ・欧州からの桜ツアーは集客好調。(第1種/総合旅行会社)
- ・台湾は引き続き好調。中国は復調。韓国は引き続き低調が続く。(第1種/総合旅行会社)
- ・中東、東欧からの訪日が目立った。(第1種/インハウス)
- ・訪日旅行全般は3カ月前(10~12月)より9ポイント下落し、+5。

### 3カ月後、6カ月後の見通し 山陽・山陰・四国、沖縄、首都圏(TDR含む)が好調に回復

- ・個人型の増加。中部地域が好調(第1種/総合旅行会社)
- ・中国系富裕層のグルメツアー。(第2種/リテラー2)
- ・大型団体よりFIT客様形に変わっています。(第3種/訪日旅行系旅行会社)
- ・中国圏からはFITの医療ツアーが伸びているが、グループの落ち込みが大きい。  
台湾からは1.沖縄、2.北海道、3.大阪、4.東京のFITが好調順。(第3種/訪日旅行系旅行会社)
- ・3カ月後(4~6月)は0ポイント横ばいし+5。6カ月後(7~9月)は2ポイント上昇し+7。

(単位：D I)

N:有効回答数  
(N=120)



2年前 (1~3月)	1年半前 (7~9月)	1年3カ月前 (10~12月)	1年前 (1~3月)	9カ月前 (4~6月)	6カ月前 (7~9月)	3カ月前 (10~12月)	現況 (1~3月)	3カ月後 (4~6月)	6カ月後 (7~9月)
-	-	-6	-7	2	0	14	5	5	7
							※10	※9	

※2017年12月期調査見通し数値

	1年半前 (7~9月)	1年3カ月前 (10~12月)	1年前 (1~3月)	9カ月前 (4~6月)	6カ月前 (7~9月)	3カ月前 (10~12月)	現況 (1~3月)	3カ月後 (4~6月)	6カ月後 (7~9月)
総合旅行会社	-	7	16	30	19	16	8	8	8
リテラー1	-	-18	-12	18	-22	20	11	17	23
リテラー2	-	-10	-21	-3	-24	0	15	14	19
インハウス	-	0	-25	5	0	12	-27	-17	-27
ネット系旅行会社	-	25	100	-34	40	0	67	33	33
訪日旅行系旅行会社	-	-13	-10	-11	-3	17	0	-4	-4

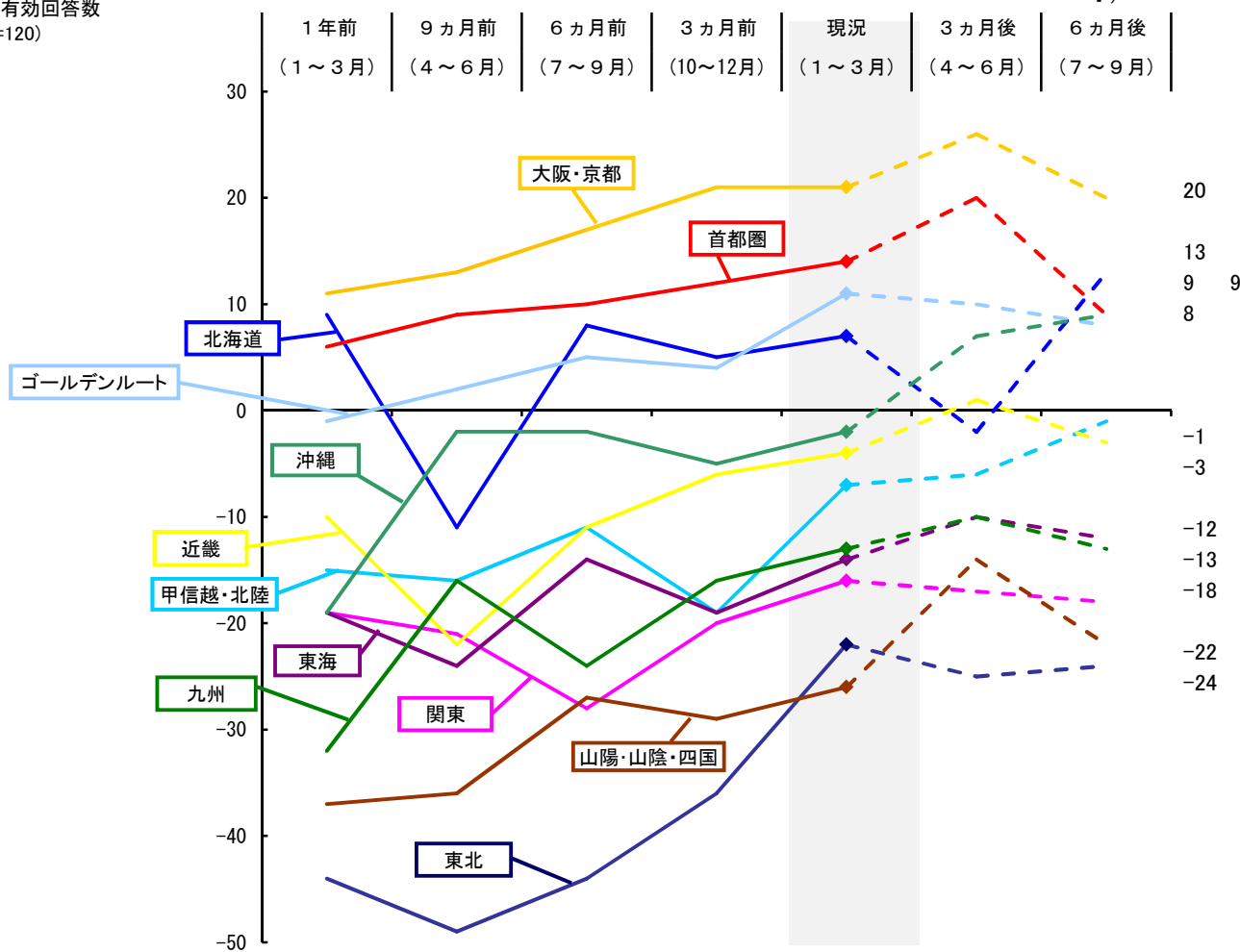
◆訪日旅行の需要動向（方面別）

現況は、東北、甲信越・北陸、ゴールデンルートが好調に回復。その他も上昇傾向。  
3ヵ月後、山陽・山陰・四国、沖縄、首都圏（TDR含む）が好調に回復で推移。

- ・ 現況は3ヵ月前(10～12月)に比べ、全体的に上昇傾向で東北は14ポイント増で(-22)、甲信越・北陸は12ポイント増で(-7)で大きく回復。ゴールデンルート(関東⇄関西)は7ポイント増で(+11)、東海は5ポイント増で(-14)、関東(茨城・栃木・群馬)は4ポイント増で(-16)と上昇傾向。沖縄は3ポイント増で(-2)、九州は3ポイント増で(-13)、山陽・山陰・四国は3ポイント増で(-26)、首都圏(TDR含む)は2ポイント増で(+14)、北海道は2ポイント増で(+7)、近畿は2ポイント増(-4)で緩やかに回復。大阪・京都(USJ含む)は現状維持(+21)で上位を継続。
- ・ 3ヵ月後(4～6月)は、山陽・山陰・四国は12ポイント増で大幅に回復傾向。沖縄は9ポイント増でプラスに位置し、上位の首都圏(TDR含む)は6ポイント増、大阪・京都(USJ含む)5ポイント増は更に上昇。近畿は5ポイント増、東海は4ポイント増、九州は3ポイント増で順調に回復。甲信越・北陸は1ポイント増で回復。ゴールデンルート(関東⇄関西)は1ポイント減、関東(茨城・栃木・群馬)は1ポイント減、東北は3ポイント減で下降傾向。北海道は9ポイント減少し大きく下降傾向で推移。

(単位：D  
1)

N:有効回答数  
(N=120)



(単位：D I)

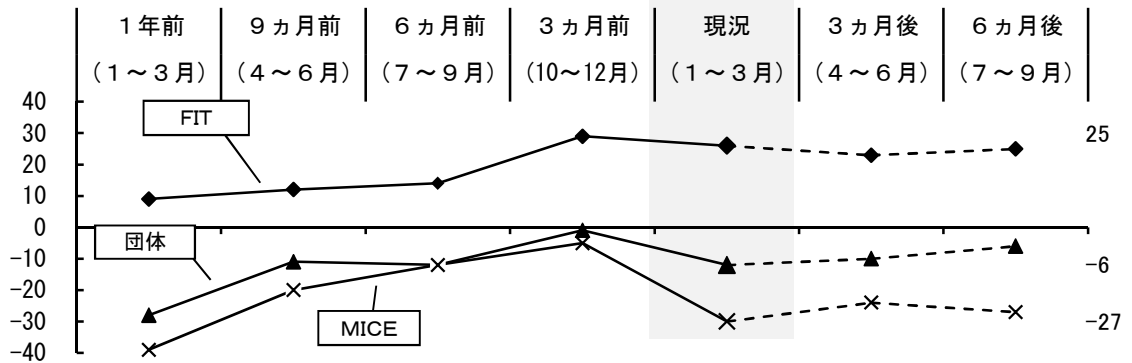
	1年前 (1～3月)	9ヵ月前 (4～6月)	6ヵ月前 (7～9月)	3ヵ月前 (10～12月)	現況 (1～3月)	3ヵ月後 (4～6月)	6ヵ月後 (7～9月)
北海道	9	-11	8	5	7	-2	13
東北	-44	-49	-44	-36	-22	-25	-24
関東	-19	-21	-28	-20	-16	-17	-18
ゴールデンルート(関東⇄関西)	-1	2	5	4	11	10	8
首都圏(TDR含む)	6	9	10	12	14	20	9
甲信越・北陸	-15	-16	-11	-19	-7	-6	-1
東海	-19	-24	-14	-19	-14	-10	-12
大阪・京都(USJ含む)	11	13	17	21	21	26	20
近畿	-10	-22	-11	-6	-4	1	-3
山陽・山陰・四国	-37	-36	-27	-29	-26	-14	-22
九州	-32	-16	-24	-16	-13	-10	-13
沖縄	-19	-2	-2	-5	-2	7	9

### ◆訪日旅行の需要動向（顧客種別）

- ・ 現況は3カ月前(10～12月)に比べ、FITは3ポイント減で(+26)。団体は11ポイント減で(-12)、MICEは25ポイント減で(-30)と大幅に下落し、全体的に下降傾向。
- ・ 3カ月後(4～6月)は、MICEは6ポイント増、団体は2ポイント増で回復傾向。FITは3ポイント減で下降傾向。

N:有効回答数  
(N=120)

(単位: D I)



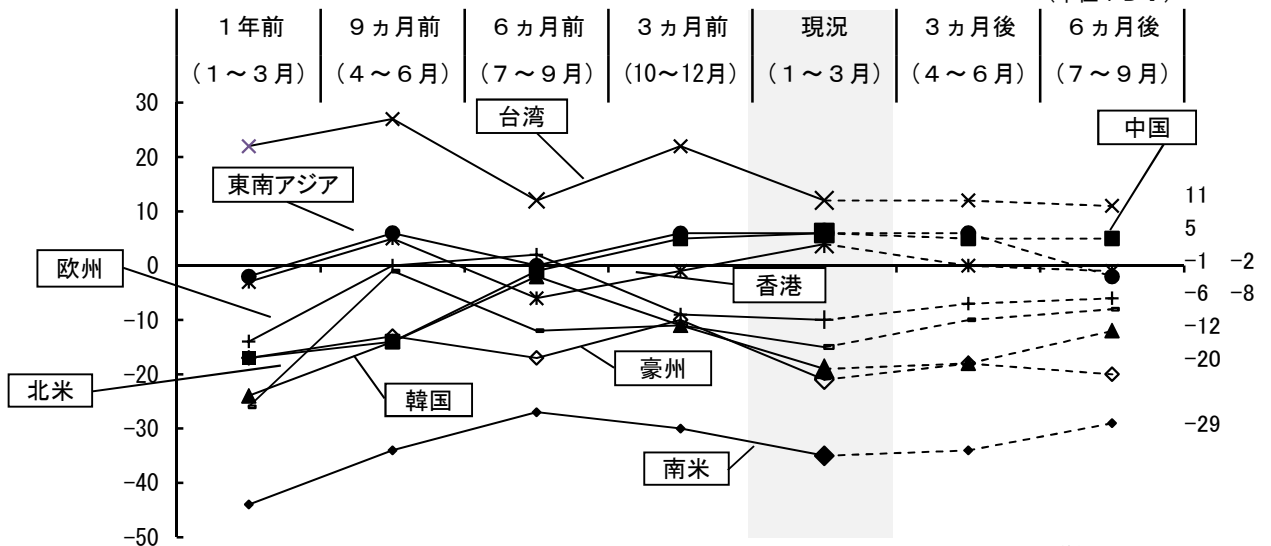
	1年前 (1～3月)	9カ月前 (4～6月)	6カ月前 (7～9月)	3カ月前 (10～12月)	現況 (1～3月)	3カ月後 (4～6月)	6カ月後 (7～9月)
FIT	9	12	14	29	26	23	25
団体	-28	-11	-12	-1	-12	-10	-6
MICE	-39	-20	-12	-5	-30	-24	-27

### ◆訪日旅行の需要動向（出身国別）

- ・ 現況は3カ月前(10～12月)に比べ、香港は5ポイント増で(+4)、中国は1ポイント増で(+6)、東南アジアは現状維持で(+6)推移。欧州は1ポイント減で(-10)、北米は4ポイント減で(-15)、南米は5ポイント減(-35)で緩やかに下降傾向。韓国は8ポイント減で(-19)、台湾は10ポイント減で(+12)、豪州は11ポイント減(-21)で下落。
- ・ 3カ月後(4～6月)は、北米は5ポイント増、欧州及び豪州は3ポイント増で回復に推移。韓国及び南米は1ポイント増で緩やかに回復。台湾及び東南アジアは横ばいで推移。中国は1ポイント減、香港は4ポイント減で緩やかに下降傾向で推移。

N:有効回答数  
(N=120)

(単位: D I)



(単位: D I)

	1年前 (1～3月)	9カ月前 (4～6月)	6カ月前 (7～9月)	3カ月前 (10～12月)	現況 (1～3月)	3カ月後 (4～6月)	6カ月後 (7～9月)
中国	-17	-14	-1	5	6	5	5
韓国	-24	-14	-2	-11	-19	-18	-12
台湾	22	27	12	22	12	12	11
香港	-3	5	-6	-1	4	0	-1
東南アジア	-2	6	0	6	6	6	-2
欧州	-14	0	2	-9	-10	-7	-6
北米	-26	-1	-12	-11	-15	-10	-8
南米	-44	-34	-27	-30	-35	-34	-29
豪州	-17	-13	-17	-10	-21	-18	-20